

AKAI
PROFESSIONAL

APC40^{MKII}

ユーザ・ガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。



製品をご使用の際は、使用上
の注意に従ってください。



1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置
を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れが
あるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音
楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かな
いでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用し
てください。アース端子付の電源プラグは、2つ
のブレードのほかに棒状のアース端子が付いてい
ます。これは、安全のためのものです。ご利用の
コンセント差込口の形状に合わないときは、専門
の業者にコンセントの取り替えを依頼してくだ
さい。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないよ
うに注意してください。特にプラグ部、コンセント
差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使
用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、プラケット、テー
ブルに載せて使用してください。設置の際、ケー
ブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の
原因にならないよう注意してください。

13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、
プラグを抜いてください。

14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口
にお問い合わせください。電源コードやプラグが
損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物
を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらさ
れたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、
修理が必要となります。

15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生します
ので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通し
の良い場所でご利用ください。

16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピー
カで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐
れがあります。（聴力低下や、耳鳴りを感じたら、
専門の医師にご相談ください）。

17. 水がかかるような場所に置かないでください。花
瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入った
ものを本装置の上に置かないでください。

18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさ
ないでください。

[WEB] <http://akai-pro.jp/>

AKAI
PROFESSIONAL

<お問い合わせ>

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション
カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザ・ガイド

はじめに

同梱物

- APC40 mkII
- Ableton Live Lite（ダウンロード）
- ソフトウェア・ダウンロード・カード
- USB ケーブル
- User Guide（英文）
- Safety and Warranty Manual（英文）

サポート

APC40 mkII の最新情報につきましては、製品ページをご覧ください。

<http://akai-pro.jp/apc40mkii/>

また、製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。

<http://akai-pro.jp/support/>

クイックスタート

- 同梱の USB ケーブルを使用しコンピュータと APC40 mkII を接続してください。
- Ableton Live を開いてください。
- Live メニュー「環境設定」を開きます。
 - Windows : オプション > 環境設定
 - Mac OS X : Live > 環境設定
- MIDI/Sync タブをクリックします。
- コントロールサーフェイスのドロップダウンリストより APC40 mkII を選択します。
- 入力のドロップダウンリストより APC40 mkII を選択します。
- 出力のドロップダウンリストより APC40 mkII を選択します。
- 環境設定ウインドウを閉じてください。

以上の操作により APC40 mkII が Live で使用できるようになります。

基本操作について

ここでは Ableton Live の基本的な操作に沿って APC40 mkII の使用方法を案内します。

重要：次の事を行う前に Live のコントローラ APC40 mkII のセットアップを完了させてください（上の「クイックスタート」の章を参照してください）。

再生を始める、または一時停止するには、プレイ・ボタンを押してください。

録音を開始するには、レコード・ボタン（通常録音）またはセッション・ボタン（Live の特長であるセッション録音を実行します）を押してください。

すべてのクリップを停止するには、ストップ・オールクリップ・ボタンを押します。

クリップを再生するには、8 x 5 マトリクスのうち該当するクリップラウンチ・ボタンを押します。この 8 x 5 マトリクスは Live 上では長方形で囲まれて表示されています。クリップラウンチ・ボタンは、Live でアサインされているクリップの色と同じ色で点灯します。

クリップを停止するには、クリップを止めたいトラックの **CLIP STOP ボタン**を押してください。

シーンを再生するには、クリップラウンチ・ボタンの 8 x 5 マトリクスの右にある 5 つの **SCENE LAUNCH ボタン**のうち、該当する箇所の **SCENE LAUNCH ボタン**を押してください。

クリップのマトリクスを移動するには、**BANK SELECT ボタン**を使い 8 x 5 マトリクスを動かします。この 8 x 5 マトリクスは Live 上では長方形で囲まれて表示されています。クリップラウンチ・ボタンの色が Live でアサインされているクリップの色と一致していることからも確認できます。

特定のトラックをソロで再生するには、そのトラックのソロ・ボタンを押します。

トラックを録音可能な状態にするには、該当のトラックのレコードアーム・ボタンを押します。

トラックのミュートおよびミュートの解除は、トラック・アクティベータ（ソロ・ボタンの上にある、トラック・ナンバの書いてある・ボタン）を押します。

トラックを選択するには、該当のトラック・セレクタ・ボタンを押します（**CLIP STOP ボタン**の下にあります）。

ボリュームを調整するには、トラック・ボリュームフェーダーを使います。

パンニングを調整するには、**PAN ボタン**を押し、APC40 mkII のアサイナブル・ノブをパン・モードにします。現在の 8 トラックのパンニングが 8 つのアサイナブル・ノブで調節できます。

センドレベルを調整するには、**SENDS ボタン**を押し、APC40 mkII のアサイナブル・ノブをセンド・モードにします。現在の 8 トラックの Send A のレベルを調節することができます。他の Send のレベルを調節するには、**SENDS ボタン**を押したまま対応するトラック・セレクタ・ボタン（例えば Send A はトラック・セレクタ 1、Send B はトラック・セレクタ 2 など）を押すことで切り替えられます。

メモ：リターントラックは Live セットの右端に表示されています。

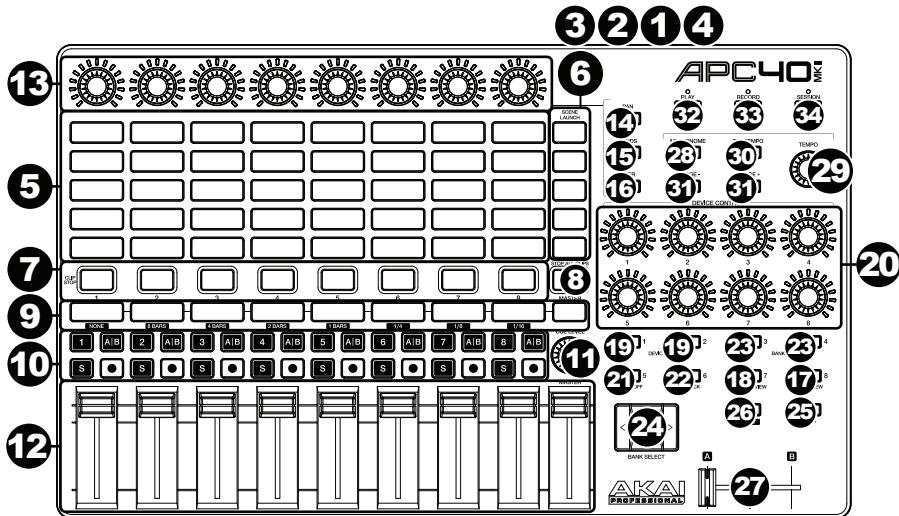
その他の機能をコントロールするのにアサイナブル・ノブを使用する場合は、**USER ボタン**を押し APC40 mkII のアサイナブル・ノブをユーザ・モードにしてください。ユーザ・モードでは、Live の MIDI Map モードでマッピングできるパラメータは何でもアサインすることができます。

デバイスを調節するには：

1. トラック・セレクタでデバイスを調節したいトラックを選びます。
2. 画面の下部分に Device View が表示されていない場合、**CLIP/DEV. VIEW ボタン**を押して画面を変更してください。
3. **DEVICE ←/→ ボタン**を押し調節したいデバイスを選択してください。
4. 8 つの **DEVICE CONTROL ノブ**を使い現在のデバイスの 1 番目のバンクのパラメータを調節することができます。**BANK ←/→ ボタン**でそのデバイスのバンクを選択することができます。

ヒント：DEV. LOCK ボタンのオン / オフで現在選択されているデバイスのロック / アンロックができます。デバイスがロックされていると、どのトラックやデバイスを選択しているかにかかわらず特定のデバイスのコントロールが可能です。

各部の機能



1. **USB ポート** : USB ケーブルを使用してこのポートからコンピュータの USB ポートと接続します。コンピュータの USB ポートから APC40 mkII へ電力を供給します。この接続は MIDI データを送受信するためにも使われます。
2. **パワースイッチ** : APC40 mkII の電源のオン / オフに使用します。
3. **フットスイッチ(FS)入力端子** : 1/4"(6.35mm) TS フットスイッチ(別売)をこの入力ポートへ接続できます。
4. **ケンジントンロック・スロット** : APC40 mkII の保護のためにケンジントンロックの使用ができます。
5. **クリップ・ラウンチ・ボタン** : セッションビュー画面で、8 × 5 で表示されるクリップを再生するのに使用します。それぞれのボタンがひとつのクリップのスロットをあらわしています。8 つの縦の列がそれぞれのトラックをあらわし、5 つの横の列がシーンをあらわしています。クリップラウンチボタンの色は Live 上でアサインされているクリップと同じ色で点灯します。

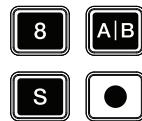
シーン全体で再生したい場合はクリップの右にある SCENE LAUNCH ボタンを使用します。

6. **SCENE LAUNCH ボタン** : それぞれボタンの左側にあるシーン（クリップの横の列）の再生ができます。
7. **CLIP STOP ボタン** : ボタンの上にあるトラック（クリップの縦の列）の停止ができます。
8. **STOP ALL CLIPS ボタン** : すべてのクリップを停止させます。クリップはそれぞれ最後まで再生されると止まります。
9. **トラック・セレクタ** : DEVICE CONTROL ノブでデバイスを調節するとき、トラックを選択するのに使用します。一番右の **MASTER** と表記されているボタンはマストラックを選択します。

SHIFT ボタンを押しながらこれらのボタンを押すと、グローバル・クォンタイズ設定を変更できます。左から NONE、8 BARS、4 BARS、2 BARS、1 BARS、1/4、1/8、1/16 となります。

10. トラック・ボタン：

- **トラック・アクティベータ（数字）**：トラックのアンミュートまたはミュートを切り替えます。
- **クロスフェード・アサイン（A|B）**：ボタンを押すごとにクロスフェーダの割り当て（A、B、Off の順）が切り替わります。
- **ソロ（S）**：トラックをソロで再生させたい場合はこのボタンを押してください。
- **レコードアーム（●）**：トラックを録音待機状態にするにはこのボタンを押してください。



11. CUE LEVEL ノブ：キューのポリュームを調整するにはこのノブを使用します。

12. トラック・ボリュームフェーダ：それぞれのトラックの音量を調節するのにこのフェーダーを使用します。右端の **MASTER** と表記されているフェーダーはマスタトラックの音量を調節します。

13. アサイナブル・ノブ：トラックのパンニングや、センドレベル、その他独自にアサインしたパラメータを調節します。

PAN ボタン（14）や **SENDS** ボタン（15）、**USER** ボタン（16）を押すことで（下記の通り）それぞれのモードへ変更することができます。

14. **PAN** ボタン：アサイナブル・ノブを PAN モードにします。現在の 8 トラックのパンニングがアサイナブル・ノブで調節できます。15. **SENDS** ボタン：アサイナブル・ノブを SENDS モードにします。現在の 8 トラックの Send A のレベルを調節することができます。

他の Send のレベルを調節するには、**SENDS** ボタンを押したままで対応するトラック・セレクタ・ボタン（例えば Send A はトラック・セレクタ 1、Send B はトラック・セレクタ 2 など）を押すことで切り替えられます。

16. **USER** ボタン：アサイナブル・ノブを USER モードにします。USER モードでは、Live の MIDI Map モードでマッピングできるパラメータは何でもアサインすることができます。17. **DETAIL VIEW** ボタン：このボタンを押すことによって、（**CLIP/DEV. VIEW** ボタン（18）によって選択されているクリップビューまたはデバイスピュー）の表示 / 非表示の切り替えができます。**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すと、現在選択しているデバイスのバンク 8 が選択できます。18. **CLIP/DEV. VIEW** ボタン：クリップビュー（クリップが表示されプロパティを調節する画面）とデバイスピュー（トラックにアサインされているすべてのデバイスが表示される画面）の切り替えに使用します。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、現在選択しているデバイスのバンク 7 が選択できます。

19. **DEVICE ←/→** ボタン：トラックに複数のデバイスがアサインされている場合、それらの選択ができます。それぞれのボタンは次に選択できるデバイスがある方向が点灯します。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、それぞれ現在選択しているデバイスのバンク 1 およびバンク 2 が選択できます。

20. **DEVICE CONTROL** ノブ：現在選択されているデバイスの 1 番目のバンクのパラメータを調節するのにこれらの 8 つのノブを使用します。**BANK ←/→** ボタン（23）で指定されているデバイスのバンクが選択できます。他のデバイスを選択するには **DEVICE ←/→** ボタン（19）を使用します。

21. **DEV. ON/OFF ボタン**：現在選択されているデバイスが有効 / 無効かを切り替えます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、現在選択しているデバイスのパンク 5 が選択できます。

22. **DEV. LOCK ボタン**：デバイスの固定とその解除ができます。デバイスロックで固定した場合、Live セットのどのトラックやデバイスを選択・表示しているかにかかわらず、デバイスコントロールノブで、固定したデバイスの調節ができます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、現在選択しているデバイスのパンク 6 が選択できます。

23. **BANK ←/→ ボタン**：デバイスのコントロールパンクを選択するのに使用します。それぞれのボタンは次に選択できるパンクがある方向が点灯します。ウインドウの下のステータスバーに現在のパンクが示されます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、それぞれ現在選択しているデバイスのパンク 3 およびパンク 4 が選択できます。

24. **BANK SELECT ボタン**：Live セット内のカーソルとしてトラック（左右）やシーン（上下）を移動するのに使用します。

BANK ボタンを押しながらカーソルボタンを使用すると 8×5 マトリクスの選択範囲と共に移動します（選択範囲は Live 上で長方形で囲まれて表示されています）。クリップラウンチ・ボタンの色は Live 上でアサインされているクリップと同じ色で点灯しています。

メモ：リターントラックは Live セットの右端に表示されています。

25. **BANK ボタン**：押している間、**BANK SELECT ボタン**が選択範囲ごと移動することを有効 / 無効にします。BANK ボタンを押している状態でカーソルボタンを使用すると 8×5 マトリクスの選択範囲と共に移動します（選択範囲は Live 上で長方形で囲まれて表示されています）。クリップラウンチ・ボタンの色は Live 上でアサインされているクリップと同じ色で点灯しています。

26. **SHIFT ボタン**：このボタンを押しながら他のボタンを押すことでそれぞれのサブ機能として操作することができます。

SHIFT ボタンを押したままの状態では、 8×5 マトリクスはセッションオーバビュー・モードになります。セッションオーバビュー・モードでは、ひとつのクリップラウンチ・ボタンが 8 トラックと 5 シーンのマトリクスを表します。このモードによって現在表示されているマトリクスの外にもアクセスすることができます。セッションオーバビュー・モードでは、ボタンは次のような色で点灯します。

- **消灯**：この 8×5 マトリクスの中には何もクリップがアサインされていません。
- **オレンジ**：この 8×5 マトリクスの中に何らかのクリップがアサインされており、現在選択中のマトリクスです。
- **緑**：この 8×5 マトリクスの中に何らかのクリップがアサインされており、現在再生中のクリップがあります。
- **赤**：この 8×5 マトリクスの中に何らかのクリップがアサインされており、再生中のクリップがない状態です。

メモ：セッションオーバビュー・モードにおいて、現在選択中の範囲が 2 つのマトリクスを表すクリップラウンチ・ボタンに跨る場合、2 つのボタンはいずれもオレンジに点灯します。

27. **クロスフェーダ**：Live 上のクロスフェーダをコントロールするにはこのクロスフェーダを使用します。

28. **METRONOME ボタン**：メトロノームを有効 / 無効にします。

29. **TEMPO ノブ** : テンポを調節します。
30. **TAP TEMPO ボタン** : このボタンをタップするタイミングでテンポが入力されます。
31. **NUUDGE -/+ ボタン** : 一時的にテンポを速めたり遅くしたい場合に使用します。
32. **PLAY ボタン** : 再生、一時停止します。
33. **RECORD ボタン** : アレンジメントレコードを開始または停止するにはこのボタンを押します。
34. **SESSION ボタン** : セッション録音を開始または停止する際にこのボタンを押します。

付録

仕様

ノブ : 8 x 360°回転 PAN、SENDS、アサイナブル・ノブ
8 x 360°回転 DEVICE CONTROL ノブ
1 x 360°回転 CUE LEVEL ノブ
1 x 360°回転 TEMPO ノブ

クリップラウンチ・ボタン : 40 x RGB バックライトつき 8 x 5 マトリクス
5 x SCENE LAUNCH ボタン

フェーダ : 8 x 45mm トラック・ボリュームフェーダ
1 x 45mm MASTER ボリュームフェーダ
1 x 45mm クロスフェーダ

入出力端子 : 1 x USB ポート
1 x 1/4" TS フットスイッチ入力端子

電源 : USB バスパワー駆動

サイズ : 約 424 x 254 x 46mm (W x D x H)

重量 : 約 1.8kg

商標およびライセンス

AKAI professional は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

Ableton および Ableton ロゴは、Ableton AG の商標です。

Mac および OS X は Apple Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

Windows は、米国およびその他の国々において、Microsoft Corporation の登録商標です。

Kensington および K & Lock ロゴは ACCO Brands の登録商標です。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。



akai-pro.jp

Manual Version 1.0